

2019年（令和元年）5月3日（金曜日）

2019 参院選

県内全域をくまなく

大沼氏は現職として各地の消防演習などの行事出席を重ね、祭りやイベントに積極的に顔を出している。街頭演説などで政策を訴える機会は設けておらず「県内全域をくまなく回る日程を組んだ」と話す。

連休初日の4月27日は鶴岡市藤島体育館で、県内のライオンズクラブ役員らが集う晩さん会に来賓として出席した。各テーブルを回ると、「体に気を付けて頑

大沼 瑞穂氏（自民）



激励を受ける
大沼瑞穂氏
― 鶴岡市

張れ」と次々と激励の声がり飛んだ。30日には新庄市の島合戦（3日）などに出向く予定で、

「対話を重視し、県民一人一人の意見に耳を傾けて政策に反映させていきたい」と語った。

カド焼きまつりを訪れ、市民と触れ合った。

連休後半は米沢上杉まつり

野党一本化へ連休明け協議

夏の参院選で県選挙区に立候補を予定している3氏が、大型連休で活動を活性化させている。事実上の一騎打ちの公算が強まる自民

現職の大沼瑞穂氏（40）と無所属新

人の芳賀道也氏（61）は県内中を走り回り、支持拡大を図っている。野党共闘に前向きな共産の新人浜田藤兵衛氏（65）もメーデーで氣勢を上げた。芳賀氏を擁立した立憲

民主、国民民主、社民の各党県連などと共産党県委員会候補一本化を視野に連休明けに協議に入る。与野党対決の構図が濃厚になる中、平成から令和へと時代をまたぎ、熱い前哨戦を繰り広げる予定者の動きを追った。

（本紙取材班）